

日本口腔外科学会

佐久総合、新生を指定

研修施設、県下5カ所機関に

（社）日本口腔外科学会はこのほど、佐久総合病院と新生病院を研修医療機関に指定した。これにより県下の同学会研修医療機関は、すでに指定を受けている松本歯科大学病院、信州大学医学部歯科口腔外科、小諸厚生総合病院と合わせて五施設となった。

病院とも、来年四月には、研修医一人の受け入れを予定している。

佐久総合病院歯科口腔外科の飯野光義部長は、指定を機に今後「大病院の特質を生かし、全体的な観点から診療に当たれるような研修医を育てていきたい」と話している。また、新生病院歯科口腔外科の北村豊院長は、歯科医師として青年海外協力隊に加わっていたという経験から「広い世界を知って、歯科医師のあり方を学んでもらいたい」と抱負を述べている。

同学会の研修機関指定に当たっては、同学会指導医がいることや▽年間入院症例実績があることなどが要件。さらに指導医になるた

例八〇以上▽口腔外科関連外来症例五〇〇以上の診療実績があることなどが要件。さらに指導医になるた

例八〇以上▽入院手術症例は約一五〇件、入院手術症例は約一〇〇〇件。新生病院はそれぞれ一三〇件、一〇八件となっている。両